

## 64 我が街 船橋を歩く 船橋の魅力 (35)

### —船橋の最北端 旧小野田村を訪ねて (2) 光明寺・安房神社—

29 期 仲田 元昭

前回に続き、船橋の奥座敷、今も里山風景が残り古くから農業が続けられている、旧小野田村の神社仏閣のご案内です。

#### 「玉井山 光明寺」

今から 1200 年程前の平安時代初期大同 3 年(808)の創建と伝えられ、600 年程前に法華経寺八代「日院」上人(1415-1501 没)の隠居寺となり、真言宗より日蓮宗に改宗されました。本堂には見事な天井絵があります。

この地区は、平安時代臼井の荘で後に法華経寺に荘園として寄進されたため、この付近の寺院は日蓮宗が多くあります。

境内には、明治 8 年(1875)に開校された「小野田尋常小学校」の校舎がありました。その時の先生が旧佐倉藩主の「松村直江」(当時 24 歳)で、開校時より 37 年間訓導を勤められ、この顕彰碑は、昭和 31 年(1956)松村先生の 33 回忌の年に建立されました。顕彰碑は高さ 3m 幅 1m 程と立派で、寄進した多くの生徒達の名が刻まれ、広い範囲の村から学びに来ていたことが判ります。

本堂の裏に小野田城址の土塁があり祖師堂(萩堂)の裏まで続いていたようです

#### 「安房神社」

角頼家が隣村(八千代)より勧請・奉祀した神社で、明治 16 年(1883)村社となりました。角頼家は臼井衆の一門とされる、原氏(戦国時代千葉氏をしのぐ実力)の家臣であったと言われています。

祭神は、天太玉命で、本殿の規模は小さいながら彫刻は素晴らしく必見の価値があります。現在は見事な竹林に覆われ見通しが悪いですが、小野田城の「見晴らし台」であった事が解ります。

この集落は 33 戸程と小さな村ですが、その他に諏訪神社、足尾神社と神社が 3 社もあり、また旧家の角頼家と玉井家には立派な長屋門を構え(令和 7 年 10 月メルマガ 59 号のご案内)、村の豊かさを感じます。

(参考図書: 船橋の地名を歩く、積田家遺稿集他)  
65 我が街 船橋を歩く 船橋の魅力 (36) に続く  
「寄稿: 2026-3-1」



光明寺 本堂



松村先生の顕彰碑



安房神社 本殿



安房神社 木鼻の立派な象と獅子の彫刻